

## 令和5年度第6回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和5年10月6日（金） 午前9時30分～午後4時40分
2. 開催会場 印西市文化ホール 大会議室、多目的室
3. 出席者 戸川和成委員長、市場勝巳委員、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、矢野眞理委員、藤澤進委員、奥田信康委員、棚橋明委員、志村はるみ委員（以上10名）
4. 事務局 市民活動推進課・川島課長、岡本課長補佐、本田、伊藤
5. 発表者 提案者9名
6. 傍聴者 議題（1）印西市情報公開条例第7条5号の規程により、非公開  
議題（2）公開 1名（提案者及び市民活動支援センターを除く）
7. 会議内容
  - 1 開会
  - 2 議題
    - （1）企画提案型協働事業 公開審査会（最終審査）／スケジュール及び評価の確認について
    - （2）企画提案型協働事業 公開審査会（最終審査）について
      - ①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明
      - ②プレゼンテーション  
提案1 虐待予防事業『子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング』（NPO 法人ハートフルコミュニケーション千葉エリア）  
提案2 「地域猫活動」普及啓発事業（印西・地域猫友の会）  
提案3 市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系（NPO 法人亀成川を愛する会）  
提案4 保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」（ベジガールズ 全世代に向けた運動支援）  
提案7 グリーンカーテン大作戦「CO2を減らそう！ストップ温暖化！」（みんなのいっぽ）  
提案8 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（特定非営利活動法人エコネットちば）
      - ③審査結果発表・講評
  - 3 閉会

## 8. 会議要旨

### 2 議題

(1) 企画提案型協働事業 公開審査会 (アイデア審査) /スケジュール及び評価の確認について  
《事務局説明》

・次第、資料13、14、15、16、17、18に基づき説明。

《委員質問・検討》

・公開審査会のスケジュール及び審査方法を共有。

・事前に各委員から頂戴した提案に対する質問の割り振り及び附帯意見の集約方法を確認。委員会を3グループに分け、6提案を分担して模造紙に集約し、グループリーダーが講評することとした。

(2) 企画提案型協働事業 公開審査会 (最終審査)

①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明

②プレゼンテーション

【提案1】虐待予防事業『子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング』

(NPO 法人ハートフルコミュニケーション千葉エリア)

提案者の発表

・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 自己肯定感とはどのようなものか。それは短期講座で修得できるのか。

(提案者回答) 自己肯定感は、私はここにいて良いのだ、という人間が生きていくうえでとても大切なものと認識しています。自己肯定感の反対が自己否定であり、例えば自殺がそうである。自殺件数は増えており、自己肯定感をいかに育てていくかが自殺防止にも関わるし、虐待を受けた子は、自分はいないほうがよいという気持ちを育てることにもなる。虐待を防ぐためには自己肯定感を育てることが大事。

効果については、本講座でヒントを持って帰っていただき、選択肢を増やしてもらうこと。虐待はそれ以外の方法を知らない故にその行為に至ってしまう部分がある。それ以外もあるということを知るチャンスという意味で1回でも効果はあると思う。

(質問2) 事業経費の積算根拠について、単発講座3万3千円、連続講座1万1千円となっているがその積算根拠を教えてください。また、単発講座2回について託児費用は計上しなくてよいのでしょうか。

(提案者回答)

講座の積算については当団体では外部向けにはプログラム作成費等含め1講座2時間で3万3千円を提示させていただいています。また連続講座については、外部向けには1回あたり1人1千円×定員数で1万1千円とさせていただいています。

託児費用については子育て支援課職員に依頼予定です。

(質問3)

プレゼンテーションを聞いて有効な講座であると理解しましたが、中期的には、一年だけで終わらせず、規模感や広がりをもどのように作っていくかが大事だと思います。中期的にどのような取組、広がりを考えられているか教えてください。

(提案者回答)

私たちも1回よりも最低でも2回、さらに連続講座の効果は大きいと考えています。子どもの成長に伴い親の関わり方も変わっていく中で、乳幼児から節目、節目で講座を受けていただくことで効果があります。そのように講座を展開することで切れ目のない支援ができると考えています。子育て支援課とは0歳から18歳までの子供への関わりが私たちと一致しており、今回は単発だが、どの年代に問題があるかを相談しながら広がりを考えていきたいと思っています。

(質問4)

子育て支援課はどのようにお考えですか？

(関連課回答)

子育て支援課としても、同じように講座の継続は必要だと考えている。今回採択された場合、来年度講座開催となるが、その先は事業者と検討してより良い講座を開催したいと考えています。

(質問5)

子育て支援課へ質問です。既に類似事業を実施していると伺っていますが、今回の提案との違いと相乗効果について教えてください。

(関連課回答)

類似事業と提案事業には合致する部分がありました。一緒にやるのではなく一本化して、市の類似事業の拡大として今回の提案を受けています。期待できることは、すでに子育て講座を開催していますが、単発講座のみでしたが、今回の協働事業で連続講座ができるということで、虐待による体罰によらない、それ以外の子育てを知らない保護者へより働きかけができると考えている。

(質問6)

過去数年で虐待事例は何件報告されましたか。

(関連課回答)

過去3年で、令和2年度で207件、令和3年度で238件、令和4年度で234件となります。

## 【提案2】 「地域猫活動」普及啓発事業（印西・地域猫友の会）

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1)

活動の中で、具体的な目標値が示されていませんが、保護・避妊去勢手術に目標値は、どの程度やるとどういう状況になる、のような目安はありますか？

(提案者回答)

地域の方々が困っている相談が無ければ目標値の設定も難しいと考えます。

(関連課回答)

令和元年度から避妊去勢手術の助成事業を始めています。元年度は6匹、2年度は45匹、3年度は78匹、4年度は103匹と徐々に増えています。実際市では年間雄を50匹、雌を75匹の125匹を定量的な目標としています。自分自身、今年度からこの業務を行っておりますが、考えが甘かったと思うぐらい増えている。具体的な数字は示せないが感覚的には相当増えていると考えています。数量的には把握はできないのが現実です。

(委員)

目標値の設定が難しい旨は分かりました。把握されていることが大事なかなと思いますので是非進めていただければと思います。

(質問2)

協働事業計画書中、外部講師後援会とありますが、内容と参加予定人数、謝礼について15万円とあるが、謝金単価等と比較して如何ですか？

(提案者回答)

外部講師の講演会謝礼については、いろんな講師がいる中、当団体では何回か外部講師をお呼びしたことがあります。その中で一番低料金の方はボランティアで交通費のみ。名の通った方だとやはり高いです。内容・人数についてはどのような方が講師となるかによって出していきたい。例えば大きな会場で人が集まらないでも困ってしまうので、今後担当課とも打ち合わせしながら、会場・規模を考えながらやりたい。気持ちとしては多くの方に来てほしい。この活動だけで集まるかは不明なのでペットを飼っている人も含めての集まりを考えている。

(委員)

具体的には決まってないということ？

(提案者)

そうです。コロナ等で活動できず、以前の伝手を考えながらやっていくしかないと考えています。

(質問3)

事業予算について、サポート事業36回、被害改善5回とあります。問い合わせを受けた後の対応として、出動やサポートと考えられるが、この二つについては距離感あると思います。出動しないでいい相談もあると思いますが、この対応の判断基準について、また36回とあるがこの数字は少ない、あるいは多いのでしょうか？ 回数の変動によって活動の内容も変わると思います。

(提案者回答)

36回と5回の積算については、今までの活動からこれぐらいの件数は出るのではないかと考えています。経費内訳書中歳出の①、②ともに単価契約であり、実際の出動がなければ請求はしません。税金から頂くお金なので、しっかり判断してやっていきたい。

(関連課回答)

市でも対応回数は月2、3回ぐらいと考えています。市民の方からもどう捕まえればいいんだ、

餌やりはどうすればいいか、など問合せは多い。市では対応等はしていないため、そうやっていますよ、という範囲でしか助言できない。そうすると市はできるのかなと言われてしまう。そのような中で団体に対応いただくことは現実にあると思う。

また、成功報酬の側面であるので、助成金までつながればと考えている。月3回程度は市へ相談があるので、回数は妥当だと思います。

**【提案3】** 市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系（NPO 法人亀成川を愛する会）  
提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）

提案書ではホタルの調査をあげていますが、あえてホタル等を選んだ理由や波及効果を教えてください。

（提案者回答）

ホタルはどの年齢層にも一番親しまれており訴える力がある。またホタルを守れるような水辺があれば、他の里山の生き物も保全されると考えています。

（質問2）

提案では調査と一緒にワークショップと見学会の詳細な内容、規模感について、ワークショップは市外40名とあるが、市内は何名でしょうか。また、ワークショップは団体員が担うと思うが人件費は計上しなくてよいのでしょうか。

（提案者回答）

市外は市内の間違え、人件費のほうは計上漏れですので、団体の別予算から支出を考えています。ワークショップの内容としては、まずこんなところがあるんだということを紹介してその中で有志を募り先進地の見学等を考えています。そしてワークショップではどんな風にしていきたいか、どうやったら市民に参加頂けるか、市内のほかにもホタルを守る団体があるので、話を聞きながら、行政、専門家の意見を聞きながら進めていきたい。

（質問3）

OECEM認定に向けてはもっと調査が必要だと思いますが、印西市側でOECEM登録などを担当される部署はどこになりますか。

（関連課回答）

国が行っているOECEMへの登録は、行政以外でも環境団体、企業でも可能ではあります。市で行う場合は環境保全課で実施すると考えます。なお、市内でのOECEM登録はありません。登録を目指す場合は国が定める努力義務である生物多様性の地域戦略の策定が必要と考えています。また、登録には課題もあり、市内の里山や谷津の多くが民有地であり、今回提案頂いた場所は市有地ではあるが、今後は以上を踏まえ検討していきたい。

(質問4)

このような活動を継続して行っていくうえで市からのワークショップ参加の呼びかけ以外にどのような支援活動、緑地維持のサポートが予定されますか。

(関連課回答)

現在、他の里山等は環境保全課が団体に委託し保全をお願いしている。

(質問5)

提案頂いた事業は生態系保護など重要性が高いと思います。市内にはこのような谷津が多くあると思いますが、活動を広げていく考えはありますか。

(提案者回答)

この提案が、谷津を守る他の団体にも広がっていけばいいなと考えている。民有地での保全は中々難しく、今回を契機にして、ホタルを守るということで多くの方に参加頂き、保全活動の契機となればと思っている。

(関連課回答) 環境保全課

環境保全課で管理している里山の状況ですが、企業庁から譲渡された武西地域の里山や企業から寄付された大森別所の森、NPOや市民活動団体と連携・協力しながら保全活動を行っています。また草深の森についても同様の事業を実施しています。

(委員)

市としても保全活動等を広げていく考えはありますか？

(関連課回答) 環境保全課

保全活動については市有地については積極的に行っているところですが、民有地は調整のむつかしさ等ありますので検討していきたいと思います。

(関連課回答) 都市整備課

当課は市の緑地を日常管理しており、今回の提案場所である別所緑地も管理しています。今回の提案は多数管理している緑地では初めての試みですので、先駆的な形で成功すれば広げていくことも考えられると思います。

**【提案4】** 保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」(ベジガールズ 全世代に向けた運動支援)

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1)

バランスボールを6回体験するとあり、姿勢と、カエル座りができるか足指の動きのデータを取り、各園へ配布をすることであるが、幼児期にバランスボールをつかった運動することの有効性をどういう風に効果検証していくのかお聞きしたい。協働事業として実施する中ので、効果検証

をしたものを、どのように使っていくのか。またデータを使うときに、保育や保護者への同意や、個人情報保護等の管理体制は取れているのか教えてください。

(提案者回答)

まずは効果・エビデンスをどう取るかということですが、当団体では理学療法士がおり、6月から2月まで、子どもの姿勢の変化を取っていく。またそれに加え、足指・カエル座りができた・できなかった等データ取りを行っていきます。

(委員)

それをどういう風に使っていきますか？

(提案者)

継続的に使っていく、できないと肩が痛くなったり腰が痛くなったり不調につながり・・・

(委員)

どのように活用していくか、幼児期にバランスボールの運動することの有効性をどのようにまとめていくのでしょうか。あまりその辺は考えていない？

(提案者)

一年間継続した結果こうなりましたということをお園や保護者等に報告できればと考えています。結果がしっかり出てきた場合は、年中・年少へ広げていきたいと考えています。

(委員)

取ったデータの活用の際の保育園や保護者同意や・個人情報管理はされていますか？

(提案者)

理学療法士と今後しっかり個人情報を守れるようにしていきたいと考えています。

(質問2)

一回当たりの指導時間はどれくらいになりますでしょうか？ 幼児は一時間持つのも大変で、やりたい意思を持っている子ですら40分から45分がいいところ。今回はそうじゃない子も含めているため、一時間以上持つかなと考えている。

(提案者回答)

指導時間については40分を考えています。4年間思い出プロジェクトを実施する中で、やりたくない子も前にきてぐいぐいやっている園児の様子に園の方も驚かされていた。子どもはボール遊びが好きなので、自由に、声かけ等工夫しながらみんなが楽しく行えるようにやっていきたい。また40分以上やりたいという声も多い。

(質問3)

バランスボールの有効性について伺いたい。医療用バランスボールは各家庭へまだ普及していない。運動・健康というジャンルはいろんな方法があって、他との比較において、バランスボールの指導がどのような有効性を発揮するのかをまず伺いたい。保育・健康増進課にも、行政としてのコメントをいただきたい。

(提案者回答)

医療用バランスボールは通常のそれと比べ硬く、効果的に体感を鍛えることが出来る。子どもた

ちは体幹が弱い子が目立つ。まずボールに座って弾むだけで体感を鍛えられる。園等では運動の先生はいるが、運動苦手という子もいる。バランスボールは、リズム運動なので、運動が苦手でも、苦手な子こそ前向きにとりくんでいく。リズム運動は、セロトニンも分泌され、気分が上向き作用がある。また、有酸素運動無酸素運動で成長ホルモンの分泌も期待される。私たちは小児運動指導の専門であり、そのような効果が表れるよう、理学療法士とプログラムを組んでいるので、バランスボールは他の運動と違ったものがあると考えている。

(関連課回答) 保育課

この提案を頂戴したとき、当初民間も含めてであったが、民間の運営方針がある中で難しいということになり、市立保育園での実施となった経緯がある。その中で保育士の負担軽減の側面からも有用であると考えた。効果の面では、民間保育園でも実績があるとのことなので、データを取っていただきたいことはお伝えした。市として効果があったかどうかという検証が必要。仮に効果がないこともあるとは思いますが、協働を行う中で、まずはやっていただくことが大事と考えています。

(関連課回答) 健康増進課

健康いんざい21では、運動習慣の確立を目指している。その視点であると家庭所有が少ない器具を使うので一定のハードルがある。一方道具を使うからこそ楽しいという面もあると考えている。

**【提案7】** グリーンカーテン大作戦「CO<sub>2</sub>を減らそう！ストップ温暖化！」(みんなのいっぽ)  
提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1)

CO<sub>2</sub>を減らすということで、今回の取り組みで何kg減ったなど評価しているか。

(提案者回答)

今回の提案は、CO<sub>2</sub>を減らそうというタイトルではありますが、大きな目的として地球温暖化に対する市民の意識を高めることがまず目的であることを確認させてください。この目的を達成するため、ご指摘いただいた点は重要だと考えている。

1×2㎡のグリーンカーテンで32kgのCO<sub>2</sub>を削減できるというデータがあり、苗配布の際ご説明している。各家庭で前後はするが、こういう数字を見るだけで印象が変わる。実際子どもたちに32kgのバッグをもって実感してもらい、やってみようという声も聴きます。数字が持つ力を活用して、具体的な測定には及ばないが、このような形で表現している。

(委員)

具体的に全部測定することは必要ないとは思いますが、相対的に様々な手法がある中、グリーンカーテンがどのような位置づけにあるか皆さんで学んでいければ良いと思います。楽しく、仕組みなどを工夫すれば、親御さんへも波及するかと思う。少し深掘りしてやられると活動の価値が上がっていくと思います。

(提案者)

参考にして、来年度以降もレベルの高い情報を発信していきたい。

(委員)

量や位置などを比較しても面白いと思います。知的好奇心を掻き立てることが出来ると思う。

(質問2)

地球温暖化防止対策として、市ではほかにどのような施策を講じていますか。

(関連課回答)

市では環境基本計画、地球温暖化対策実行計画及び地域気候変動適応計画を策定した。施策として省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの促進、環境に配慮したまちづくりの推進、気候変動の影響への対策などを掲げており、具体的な取り組みとしてエネファーム等への補助金交付事業を実施、また今年度からプールシェア事業を実施しています。また、団体からも説明がありましたが、イオンモールにおいてイオンとの協働事業として、北極モール計画というイベントなどを実施した。今後はゼロカーボンシティを目指し、各種事業を実施していきたいと考えている。

(質問3)

この一年取り組んでみて、グリーンカーテンへの市民の反応や広がりはどのように受け止めていますか。

(提案者回答)

広がりという意味では、参加者の数は3倍に増えた。公式ラインでつながると、グリーンカーテンの情報が得られるが、登録者数は60名。インスタグラムは300名弱である。大きな数字ではないが、これまでなかったような広がりがある。SNS上では、やってみると暮らしが良くなり、それは涼しさだけでなく、楽しさ、季節感、実感をもって一緒に植物と暮らすことで、大きな気づきを得てそれが豊かさにつながっているという声の方が大分と思う。このような声は私たちにも学びでした。これをPRして、緑が多い印西市に住んでいることのよさを戸建てでもマンションでも味わってもらふことに価値があるのかなと思っています。

## 【提案8】 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1)

ひょうたん島池の水面も含めて、水と緑のレクリエーションゾーンとして市民に利用してもらうよう、維持管理する考えはありませんか。

(都市整備課回答)

ひょうたん島池に関しては調整池という位置づけであり、調整池については土木管理課所管となっています。令和3年度より草の繁茂の対応として、池底の土砂の撤去の工事に着手しまし

た。令和5年度も池底の土砂の撤去等を11月から開始予定で、まずは水の底をきれいにする工事から始め、委員から頂いた御意見については土木管理課と都市整備課とで共有し、考えさせて頂ければと思います。

(質問2)

年間スケジュールの中で芝桜まつりが入っておりますが具体的にはどのようなイベントでしょうか。また、市に負担を求める額が昨年度と比べ10万円ほど増額になっておりその理由を伺いたい。

(提案者回答)

芝桜のイベントは4月にすでに実施済み。皆さんに来てもらって、楽しんでもらうイベントとなっています。お子さんも来られるので、バルーンを差し上げたりして楽しんでもらっています。予算額ですが、農機具で使うガソリンの割以上の値上がりや、農薬・肥料類も値上がりしたため、都市整備課と相談した結果見直させていた。

(質問3)

毎年継続して事業を実施していくことも大事だが、新しいことを始めることも大事だと思います。最近の動きとして、生物多様性を豊かにしていくことや地場産のものを使う、といった視点が出てきています。難しいとは思いますが、花の選択等に御当地産のものを使うなどし、自然を長く安定的に使っていくメッセージも入れていくと良いと思います。そうすることでより活動の価値が上がってくるのではないかと思います。

(提案者回答)

実際に団体が行っている作業は園芸や造園屋さんが行っている類のものになります。個人的には恒常的にやっているのが実態であり、企画提案として少し疑問があるのは事実です。我々としては花の植え方や種類を変えたり、工夫できることは工夫してやっているつもりです。

(関連課回答)

これまでも団体にはたくさんの工夫をしていただいていると考えています。今年度はお祭りなどイベントが再開され、市民から喜びの声が聞こえています。委員からのご意見含め、そのような声がより多くなるような形でエコネットちばと協議しながら、すぐには難しいが、市民に喜んでもらえる場所になるよう実施していきたい。

③審査結果発表・講評

【審査結果】

提案番号	事業名	○	△	結果 (可/否)
1	虐待予防事業『子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング』	10	0	可
2	「地域猫活動」普及啓発事業	10	0	可
3	市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系	10	0	可
4	保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」	7	3	可
7	グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ ストップ温暖化！」	9	1	可
8	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	10	0	可

【講評】

提案毎に、担当の市民活動推進委員会委員より講評を行う。

【提案1】虐待予防事業『子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング』

1 事業内容の目的・内容・効果

- ・団体の専門性を活かした事業提案であり、協働で実施することに意義がある。
- ・継続性を期待する意見や効果の測定を行っていただきたい。

2 事業計画・実施体制

- ・事業実施にあっては市との連携が重要であるが、提案内容については担当課との協議の中で内容を練っており一定のコミュニケーションが取れている。
- ・子育てに関して市の施策の一部として広がりを見せていただきたい。

3 実施方法・積算根拠

- ・コーチングを利用されて子育てをすることに肯定的な意見があった。

【提案2】「地域猫活動」普及啓発事業

1 事業の目的・内容・効果

- ・事業の目的・内容については評価する意見が大勢を占めた。
- ・事業の効果については、事業を実施した場合としない場合とを比較し、効果が見える化することで、協働する意義になるのではないかと。

2 事業計画・実施体制

- ・人材育成・ネットワークの強化をどう図るのか、また三者協働について具体性を持たせたほうがよいといった、さらなる事業内容の具体化と実践の具現化に期待する意見があった。
- ・実施体制について、地域猫の扱いやルールなどを地域や会員へどのように周知するか、また相談が多い場合などどうするかなど、きめ細かく対応してもらいたい、そして事業の効果が上がった場

合には、将来市の既存事業に組み込むのか、先を見据えていただきたい。

### 3 実施方法・積算根拠

・費用の積算について、人件費も必要ではないか、また事業の継続性を考えた場合収入の部分を考えてほうがよい。

## 【提案3】市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系

### 1 事業の目的・内容・効果

- ・緊急性の高い生態系の変化が起きている中で肯定的な意見が多くあった。
- ・団体が熱心に活動を実践している中、次の活動にどのように繋げるか、事業の発展性が期待できるという意見があった。
- ・ワークショップ等で、生態系の保全について関心が低い人をどのように巻き込むか、より具体的に詰めていただきたい、そうすることで次世代に繋げる生態系の保護につながる。

### 2 事業計画・実施体制

・次世代に繋げるという意味で、教育との連動性を期待する意見や、多くの市民の参加や協力が增えるよう、情報発信に力をいれるよう意見があった。

### 3 実施方法・積算根拠

・OECMについて実践している方もすでに印西市にいる中、行政だけでなく連絡協議会のような形もある旨意見があった。

## 【提案4】保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」

### 1 事業の目的・内容・効果

- ・楽しんで体幹を強化できることや園児の成長につながることにについては、肯定的な意見が多くあった。
- ・まずやってみることについて肯定的な意見がある一方、次の活動へ繋げるため、成果の出る取組にしてほしいという意見もあった。

### 2 事業計画・実施体制

- ・提案内容の事業計画等は、関連課と連携がとれている。
- ・事業の受手である公立の保育園からも事業実施に肯定的であることから、協働事業の効果が発揮しやすい。

### 3 実施方法・積算根拠

- ・指導料等、積算根拠について課題がある。
- ・成果として効果測定を実施し、データを収集することについて、そのデータをどのように活用するか、効果的に活用するよう意見があった。

## 【提案7】 グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ストップ温暖化！」

### 1 事業の目的・内容・効果

- ・今年度既に実施している事業からさらに拡大した提案内容であり、提案に期待する。
- ・実施にあっては市民一人ひとりの環境意識の向上や、自主的な行動につながる視点をもって実施して頂きたい。

### 2 事業計画・実施体制

- ・事業計画として苗の配布や設置促進にとどまらず、環境意識を高めるためインスタグラムのフォロワー数や公式ラインの登録者数などを目標設定にしてはどうか、またコンテストの規模や回数を拡大、市民の意識調査などをしてよいのではないか、といったもう一步踏み込んだ計画を期待する意見や、環境啓発としての計画をより詰められると良いという意見があった。
- ・実施体制については、スタッフの充実も図るよう意見があった。

### 3 実施方法・積算根拠

- ・グリーンカーテンを設置することによる効果を、どう示していくかが課題。各自治体で様々な取組データが公表されている中、それらを活用して啓発することも大事ではないか。

## 【提案8】 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

### 1 事業の目的・内容・効果

- ・きれいな景観づくりを続けている成果が分かる、コスモスを見るだけでなく摘み取っても良いところが、見るだけでなく記憶にも残る取組である。

### 2 事業計画・実施体制

- ・是非続けてほしい、どのようにしたらこの先続けられるかと応援する意見があった。
- ・協働ではなく定常事業として考える時期に来ている。
- ・他の環境団体と連携して子どもワークショップなどの場として活用してもらうのはどうかという意見があった。

### 3 実施方法・積算根拠

- ・効果は明確であることから、今後は無償分を減らす（市の負担を増やす）ことを望む意見があった。

## 【総評】

- ・委員長より総評がある。

評価委員として提案を送り出しましたので、ぜひ進めていただきたい。

協働事業の前提として、まちづくりをきっかけに、印西市が掲げる暮らしやすさを実現するということがあります。現在、いわゆる公共サービスについては人々に寄り添うという政策の動きがあります。寄り添うときに、自分にとってこの政策が不都合だな、あるいは隙間のない切れ目のない支援が必要だなということがある。そのようなことに市が気付くきっかけとして、市民から教えてもらうことがあります。

行政側で担当が分かれるような隙間事案に対して、協働事業をきっかけとして、じゃあまずここでやってみようということについて、提案型の協働事業の意義が表れていたと思います。

だからこそ、この効果をきちっと記録することが大切ですので、市民団体側だけでなく、行政もサポートを引き続きお願いしたい。以上、採択おめでとうございます。

**【事務連絡】**

今後の予定として、本日の審査結果を文書にて、各提案者に送付すること、また本日の結果に基づき、採択候補事業の選定結果を委員会から市長に答申し、市長が採択事業を決定後、来年度に向けて予算化、また事業の実施のための具体的な準備に入ることを説明。

以上

令和5年10月6日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和5年11月14日

会議録署名委員 委員長 戸川 和成